

デジタルアーカイブシンポジウム等の報告書

熊本大学デジタルアーカイブ室

開催日：平成 30 年 6 月 14 日（木曜日）

【アーカイブ懇談会】 10：30～12：00 会場：社会環境工学科会議室

[参加者]

熊本大学 7 名、ハーバード大学 2 名、東京大学 1 名、熊本県 4 名、益城町 3 名、
東北大学 1 名、信州大学 1 名、その他 1 名、計 20 名

[内容]

アンドリュー・ゴードン教授と東北大学災害科学国際研究所の柴山明寛教授に災害アーカイブの現状紹介して頂き、地震関連資料の収集・保存方法・資料の活用方法・課題等について意見交換



懇談会風景

【デジタルアーカイブシンポジウム】 13：00～17：00 会場：工学部百周年記念館

[参加者]

一般 23 名、自治体 19 名、熊本大学 145 名（学生：110 名、教職員：35 名）、計 187 名

[プログラムと実施内容]

●開会挨拶 原田 信志（熊本大学長）

●基調講演 「災害デジタルアーカイブ：利活用の可能性と課題」

アンドリュー・ゴードン（ハーバード大学教授）



基調講演と聴衆

●アーカイブ関係報告

①「共助の記憶とアーカイブ-過去の震災をふりかえって-」

牧原 出（東京大学先端科学技術研究センター教授）

②「熊本地震デジタルアーカイブについて」

黒瀬 琢也（熊本県知事公室危機管理防災課防災企画室長）



アーカイブ関係報告（左から、牧原先生、黒瀬氏、山尾先生）

③「地震デジタルアーカイブの資料収集と利活用」山尾 敏孝（熊本大学シニア教授）

●各自治体から現状報告

①「平成 28 年熊本地震における熊本市の対応と伝承の取組」

熊本市 酒井 英恵（熊本市政策局復興総室総務班主査）

②「益城町図書館の熊本地震アーカイブ」

益城町 西村 まみ（益城町図書館司書）



各自治体からの報告（左から、酒井氏と高田氏、西村氏）

●パネルディスカッション「デジタルアーカイブの利活用に向けて」

- ・熊本県、熊本市、益城町がそれぞれ「収集した地震関連資料について」活用の目的、対象及び方法について、理想と希望を話し、その話に対して、ゴードン教授と牧原教授先生がコメントを行ない、質疑。
- ・活用する場合の課題や問題について、各自治体が説明し、課題や問題に対する解決策のヒントやコメント、大学が支援できること等について質疑
- ・会場からの質問等にアーカイブの利活用に関する意見交換の実施



パネルディスカッションの風景